

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アクロスJOY			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達状況に合わせた適切な支援がされている	職員間で日頃より、その日の児童の様子を振り返り、次回の活動でどのように対応したり支援していくかをしっかり共有することができている。	子どもの発達に関する知識や支援技術の質を上げるため、外部研修等にも積極的に参加していく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応について、利用児童やその保護者の方に伝わっているか	保護者アンケートの結果、保護者の方への周知が足りていないことがわかった。現在は、計画やマニュアルは事業所内の掲示のみで、訓練の報告等は参加した児童の保護者への様子の共有のみであった。	①ホームページ(保護者専用ページ)にて、いつでも保護者の方の確認できるよう公表する。 ②訓練等の様子をブログやInstagramにて発信する。
2	子どもたちが安全に活動できるスペースが確保されているか	活動人数によっては走ったときにぶつかりそうで心配というご意見があり、事業所自己評価でも基準以上のスペースは確保されているものの、集団で一斉に運動をするには手狭だという意見で一致した。 児童発達支援のプログラムでは2～5人程度の人数で運動をするが、体のコントロールが難しいお子さんにとっては特に狭く感じると思う。	①動作によっては、一度に活動する人数を2人までに制限して安全に行う。 ②ぶつかった時にケガをしないように、周りにマットを立てる。 ②活動によっては、近隣施設(市民プラザの体育館)や公園を利用する。
3			